**フッ化物洗口の実施に向けた職員説明会**

　日時：５月９日（月）１４：３０〜１６：４５

　　　　５月１６日（月）１４：３０〜１５：４５

　場所：栗山町立栗山小学校（夕張郡栗山町中央3丁目）

　　　　角田小学校（栗山町角田１７番地３）

　栗山町では昨年度から道よりフッ化物洗口推進指定校として町立継立小学校が指定を受け、本年２月より洗口を実施している。今年度新たに町立栗山小学校と同角田小学校も新１年生を対象に洗口を７月から実施することになった。９日、栗山小学校（秋本修司校長　全児童数５１３名）で表記説明会が開催された。講師の北海道保健福祉部健康安全局医療参事　佐々木健先生から、８０２０運動の紹介、う蝕の病因論や予防のためのフッ化物の意義、洗口の実施方法などの説明があった。

　質疑応答に移ると、町は日弁連の中止の意見書をどう捉えるのか、過密な学務日程の中に洗口を組み入れるのは困難だ、管理と安全面はどうなるのか、事故の時の責任の所在は何処か、集団で実施のメリットは何か、など多数の質問や要望、意見などが出され、佐々木先生と教育委員会がそれに対応した。終了時間の１５：３０を大幅に超え１７：００近くに閉会となった。

　つづく１６日　角田小学校（千葉　潤校長　全児童数６２名）で同様の説明会が１４：３０から開かれた。開会にあたり学校歯科医の永山先生から、本校のう蝕有病率は１０年前にくらべ少なくなってきているが、このフッ化物洗口をもってさらに改善させていただきたい。歯科医師会も全面的にバックアップしていくとの挨拶があった。こちらの方の講師には北海道空知総合振興局保健環境部保健福祉室　主任技師　秋野憲一先生があたった。質疑応答では、安全性への疑問やスケジュール的問題などが上がったが、フッ化物洗口に頼ってはブラッシングが疎かになるのでは、との危惧の声も聞こえたが、予定をほぼ１５分超過して終了となった。

デモ用に再編集

写真説明　　永山先生３枚は角田小学校、その他は栗山小学校で背を向けているのは西村仁先生で職員に向けて、フッ化物の効果の疑問を説明している。祖父母と同居する生活環境はう蝕有病率を上げる。従ってフッ化物の効果は低い。

そのような説明をしていました。